

平成13年度 一般会計予算は **52億** ゴー!! 2

一般会計

歳入

町税のうち個人町民税、法人町民税については、土地の譲渡所得の落ち込みや農産物価格の下落、長引く景気低迷等を背景に減収が予想されます。たばこ税についても喫煙者が減少傾向にあることから減収が見込まれます。

固定資産税については、工業団地への企業進出に伴う増収が見込まれています。これらを合わせると町税全体では前年度と比較して820万円(0.8%)の減となっています。

歳入の中で一番大きな割合を占める地方交付税については、地方交付税制度の改正に伴い交付額の減少が予想されることから8千万円(4.3%)の減額計上となりました。

町債については中学校建設に係る教育債、地方交付税の減額を補う臨時財政対策債等により3億4,580万円(215.2%)の増となります。

繰入金、国庫支出金についても中学校建設を大きな要因として、それぞれ55.8%、129.7%伸びています。

諸収入については、小学校の防音改築事業が終了したことな

歳出

どから、3億9,372万円(56.3%)の減となっています。

教育費は、日吉・東陽小学校改造防音改築事業(6億1,014万円)が終了したことによる減額要因があるものの、光中学校校舎等建設事業(8億5,279万円)、東陽小音楽教室防音改築事業(5,059万円)が増額要因となっており、教育費全体では、対前年度比2億4,022万円(18.6%)の増となっています。

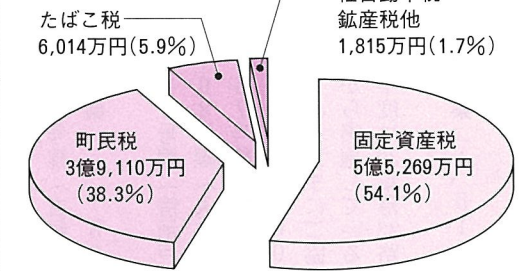
民生費は児童手当法の一部改正に伴う児童手当の増に伴い5,158万円(7.6%)の増となっています。

衛生費は八日市場市ほか三町環境衛生組合の火葬場建設への負担金(1億355万円)などにより、4,428万円(6.3%)の増となっています。

農林水産業費については、農免道路事業、国営大利根新宿機場修繕保全事業の終了などにより対前年度比1,276万円(6.4%)の減となっています。

商工費については、特産品販路開拓事業が終了した一方、商工会青年部・女性部地域振興支援事業を計上し、24万円(1.0%)減と、ほぼ前年度並みとなっています。

☆町税の内訳



公債費及び地方債の状況

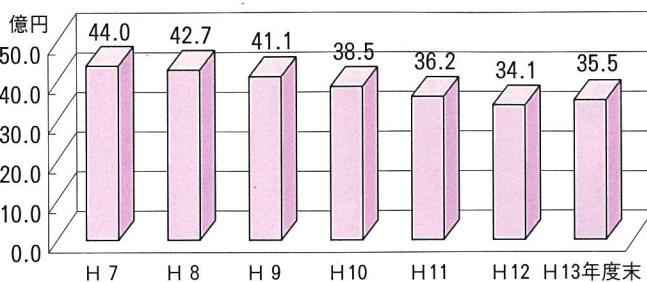
町の借入金の返済費用である公債費は平成10年度をピークに毎年減少しており、本年度も対前年度比で5,261万円(9.7%)の減額となっています。

町の借入金である地方債の現在高は平成6年度をピークに毎年減少していましたが、本年度については中学校建設、臨時財政対策債等の借入れにより増加します。

しかし、その返済費用については臨時財政対策債が100%、中学校建設に係る教育債が約76%、国から補てんされるものであり、町財政にとって有利な地方債となっています。

☆地方債現在高の推移

各年度末の数値(13年度は予定)



☆当初予算の推移

